

【7時間】問題解決研修 基礎編

～8ステップと考え方

トヨタ流問題解決とは

トヨタ流問題解決は、今や海外でも広く知られ、多くの企業に取り入れられている考え方「トヨタ流カイゼン」をもとに生まれました。トヨタでは「モノづくりは、人づくり」の精神が創業期より受け継がれています。自ら問題に気づいて解決し続ける人材を育成することで、職場のカイゼン風土を醸成し、組織を常に進化させています。



本研修では、トヨタ流問題解決の基本的な考え方や一連のステップと、それらをトヨタではなぜ大事にしているかを含めてお伝えします。また、わかりやすい演習を通して、問題解決の視点を理解し、体験しながら問題解決の基礎を学んでいただくプログラムです。トヨタ流カイゼン(問題解決)の特徴は、製造業に限らずあらゆる事業・職種で活用可能な「カイゼン」サイクルの考え方を学ぶことです。トヨタ流カイゼン(問題解決)はトヨタ自動車の教育体系に組み込まれており、「仕事のどこに問題があるのか分からない」「問題を再発させない解決手法を学びたい」といった課題をお持ちの方におすすめの研修です。

1. 研修のねらい

本研修では「あるべき姿を置き、現状分析し、要因を掘り下げる」トヨタ流問題解決8ステップの全体像を理解するとともに、各ステップの考え方のポイントを基本からお伝えします。基本的な考え方の理解・習得だけでなく、事例を元にA3資料を用いた演習を行います。さらにステップ毎の演習でご自身の仕事を通じて、問題解決の考え方が「できているところ」「できていないところ」「できているとどのようなメリットがあるのか」を振り返ることで、深い理解を促進します。

<研修のゴール>

- 問題解決8ステップの全体像を理解する
- 各ステップの考え方のポイント(上手な実践の秘訣)を習得する
- ご自身の仕事を振り返り、問題解決に対して主体的になる

トヨタ流問題解決の8ステップ

Step 1 「何が問題か」を明確にする	問題の明確化
Step 2 解決すべき部分を特定する	現状把握
Step 3 達成する目標を決める	目標設定
Step 4 要因を考え抜く	要因解析
Step 5 対策を立てる	対策立案
Step 6 対策をやりぬく	対策実行
Step 7 結果とプロセスを振り返る	効果の確認・評価
Step 8 成果を定着させる	標準化と維持管理

「問題解決の8ステップ」は問題の大きさや性質を問わず、問題解決を可能にするトヨタ独自の手法です。

ビジネスでは、自社に何らかの課題があると漠然と感じていながら、その課題がつかめず解決にいたらないことも多くあります。本カリキュラムでは、最初のステップに「問題の明確化」がある8ステップに従って、見えていない課題や表向きの原因とは異なる真因を発見する方法からレクチャーします。

2. 概要

受講対象	時間	人数
全職層	7時間	～20名

【7時間】問題解決研修 基礎編

～8ステップと考え方

3. カリキュラム (7時間)

はじめに/研修の目的

トヨタ流問題解決のこだわり/問題解決の全体像

Step1

問題の明確化

(1)あなたにとっての「問題」とは (2)「あるべき姿」とは (3)「問題(ギャップ)」とは
【演習】例題から「現状」「あるべき姿」「問題(ギャップ)」を考える
(4)2種類の「問題」 (5)テーマの目的・背景を考え、「あるべき姿」を示す (6)「あるべき姿」の目的・背景を示す
Step1「問題の明確化」上手な実践の秘訣(考え方)/問題解決の考え方が重要な理由
【演習】Step1 ご自身の仕事を振り返ってみましょう
【演習】A3資料を見ながら「Step1問題の明確化」のポイントを挙げてみましょう

Step2

現状把握

(1)解決すべき部分＝「攻め所」を特定する (2)視点(〇〇別)の考え方
(3)攻め所の候補が複数出てきたとき (4)視点をもとに現状を事実やデータで分析する
(5)攻め所に優先順位をつける (6)攻め所を決める (7)プロセス(手順)の攻め所を見つける「プロセス分析」
「Step2現状把握」上手な実践の秘訣(考え方)/問題解決の考え方が重要な理由
【演習】Step2 ご自身の仕事を振り返ってみましょう
【演習】A3資料を見ながら「Step2 現状把握」のポイントを挙げてみましょう

Step3

目標設定

(1)達成する目標を決める (2)「あるべき姿」と「目標」 (3)「目標」を立てる際のポイント
【演習】例題から「目標」を考える
「Step3目標設定」上手な実践の秘訣(考え方)/問題解決の考え方が重要な理由
【演習】Step3 ご自身の仕事を振り返ってみましょう
【演習】A3資料を見ながら「Step3 目標設定」のポイントを挙げてみましょう

Step4

要因解析

(1)2つのアプローチ (2)「特定した攻め所」に対して、要因(なぜ)を考える
(3)事実(データ)で確認する 【演習】会議参加時間が長い理由を考えてみましょう
「Step4 要因解析」上手な実践の秘訣(考え方)/問題解決の考え方が重要な理由
【演習】Step4 ご自身の仕事を振り返ってみましょう
【演習】A3資料を見ながら「Step4 要因解析」のポイントを挙げてみましょう

Step5

対策立案

(1)対策を立案する (2)対策案の絞込みの基準 (3)対策検討時に大切なこと (4)実行計画を立てる
(5)「Step5 対策立案」上手な実践の秘訣(考え方)/問題解決の考え方が重要な理由
【演習】Step5 ご自身の仕事を振り返ってみましょう
【演習】A3資料を見ながら「Step5 対策立案」のポイントを挙げてみましょう

Step6

対策実行

(1)対策実行中のポイント (2)対策をやりぬくために
「Step6 対策実行」上手な実践の秘訣(考え方)/問題解決の考え方が重要な理由
【演習】Step6 ご自身の仕事を振り返ってみましょう

Step7

効果の確認・評価

(1)結果とプロセスの振り返り (2)問題解決における「成功」とは? (3)Step7の評価により、次の行き先が変わる
Step7効果の確認・評価上手な実践の秘訣(考え方)/問題解決の考え方が重要な理由
【演習】Step7 ご自身の仕事を振り返ってみましょう
【演習】A3資料を見ながら「Step7 効果の確認・評価」のポイントを挙げてみましょう

Step8

標準化と維持管理

(1)成果を定着させる (2)「標準」とは何か? (3)標準作りのポイント (4)維持管理の大切さ
(5)維持管理のポイント (6)「横展」の進めかた (7)「あるべき姿」の達成度によって、次の行き先が変わる
「Step8標準化と維持管理」上手な実践の秘訣(考え方)/問題解決の考え方が重要な理由
【演習】Step8 ご自身の仕事を振り返ってみましょう
【演習】A3資料を見ながら「Step8 標準化と維持管理」のポイントを挙げてみましょう

まとめ

【4時間】問題解決研修 基礎編

～8ステップと考え方

■ トヨタ流問題解決とは

トヨタ流問題解決は、今や海外でも広く知られ、多くの企業に取り入れられている考え方「トヨタ流カイゼン」をもとに生まれました。トヨタでは「モノづくりは、人づくり」の精神が創業期より受け継がれています。自ら問題に気づいて解決し続ける人材を育成することで、職場のカイゼン風土を醸成し、組織を常に進化させています。



本研修では、トヨタ流問題解決の基本的な考え方や一連のステップと、それらをトヨタではなぜ大事にしているかを含めてお伝えします。また、わかりやすい演習を通して、問題解決の視点を理解し、体験しながら問題解決の基礎を学んでいただくプログラムです。トヨタ流カイゼン(問題解決)の特徴は、製造業に限らずあらゆる事業・職種で活用可能な「カイゼン」サイクルの考え方を学ぶことです。トヨタ流カイゼン(問題解決)はトヨタ自動車の教育体系に組み込まれており、「仕事のどこに問題があるのか分からない」「問題を再発させない解決手法を学びたい」といった課題をお持ちの方におすすめの研修です。

1. 研修のねらい

本研修では「あるべき姿を置き、現状分析し、要因を掘り下げる」トヨタ流問題解決8ステップの全体像を理解するとともに、各ステップの概要と考え方のポイントを、短時間で効率的にお伝えします。

<研修のゴール>

- 問題解決8ステップの全体像を理解する
- 各ステップの考え方のポイント(上手な実践の秘訣)を習得する

トヨタ流問題解決の8ステップ

Step 1 「何が問題か」を明確にする	問題の明確化
Step 2 解決すべき部分を特定する	現状把握
Step 3 達成する目標を決める	目標設定
Step 4 要因を考え抜く	要因解析
Step 5 対策を立てる	対策立案
Step 6 対策をやりぬく	対策実行
Step 7 結果とプロセスを振り返る	効果の確認・評価
Step 8 成果を定着させる	標準化と維持管理

「問題解決の8ステップ」は問題の大きさや性質を問わず、問題解決を可能にするトヨタ独自の手法です。

ビジネスでは、自社に何らかの課題があると漠然と感じていながら、その課題がつかめず解決にいたらないことも多くあります。

本カリキュラムでは、各ステップの概要と考え方のポイントをレクチャーします。

2. 概要

受講対象	時間	人数
全職層	4時間	～20名

【4時間】問題解決研修 基礎編

～8ステップと考え方

3. カリキュラム (4時間)

はじめに

研修の目的

トヨタ流問題解決のこだわり/問題解決の全体像

トヨタ流問題解決の8ステップ

- | | |
|-------|----------|
| Step1 | 問題の明確化 |
| Step2 | 現状把握 |
| Step3 | 目標設定 |
| Step4 | 要因解析 |
| Step5 | 対策立案 |
| Step6 | 対策実行 |
| Step7 | 効果の確認・評価 |
| Step8 | 標準化と維持管理 |

各ステップの概要と
考え方のポイントを学ぶ

まとめ